

令和3年度 学校説明会資料

令和3年10月9日（土）

ご挨拶

校長 高橋 剛三

本年度本校は通常級25学級、特別支援級3学級で、生徒数は約950名であり、都内一大きな学校です。その良い点として、多くの友達と関われること。行事でもお互いに切磋琢磨し、大変盛り上がることです。個別指導などについても全教職員で取り組んでいます。学年全体になると大人数のために繊細なる指導が行き届かない場面もあるかと思いますが、全力で取り組みます。

素晴らしい神代中を創り上げるために、教職員にお願いしている点は、生徒が安心して登校できる学校。保護者が安心して預けることができる学校。地域から信頼させる学校。全ての教職員が満足して働きやすい学校を作れるよう努力しております。

そんな神代中ですが、地域や保護者の皆様からの協力があり、成り立っていますのでご協力をお願いいたします。

目次

- 1 「本校の教育活動」(教務部)
- 2 進路指導の説明(進路指導部)
- 3 生活指導の説明(生活指導部)
- 4 特別支援学級について(特別支援学級)

ホームページ <http://www.chofu-schools.jp/jindaichu>
メールアドレス jindaichu@chofu-schools.jp

今年度は新型コロナウイルス感染対策の一環として、新入生保護者説明会をHPへの掲載とさせていただきます。来年度、ご入学を控えられたご家庭には、学校選択のご参考としていただければ幸いです。

教務部

I 授業が基本です

- ①授業時間の確保に努めています。
- ②授業規律を重視しています。
- ③道徳の授業を大切にしています。

II 学力の基礎基本の定着に努めています

①朝読書の実施

本校では、8:30の予鈴で着席し、全校で朝読書を行っています。これは、落ち着いて一日をスタートさせる、よい習慣になっています。

②夏季休業中を中心にした補習教室の実施

③三者面談を通じた教育相談活動、個別指導

本校では、年間2回の三者面談を実施しています。3年生は進学指導としてさらに1回を加え、計3回の三者面談を行っています。

Ⅲ 行事を通して心を育てる

- ①上級生が見本となる本校の伝統的な行事 5月体育祭 10月合唱祭
- ②特別支援学級との交流
- ③充実した宿泊行事の実施
- ④一年間の学習成果を発表する作品展示会

年間の主な行事や活動

学校行事

体育祭；新年度、一番始めにある大きな行事で、例年5月下旬に行われています。
校外学習；例年1年生は春に野川公園、2年生は冬に都内巡りを実施しています。
修学旅行；3年生を対象に秋に実施しています。例年、関西方面を訪れています。
職場体験；2年生は秋に5日間の体験活動を行っています。
合唱祭；クラスのみなが心を一つに合わせて歌います。例年10月頃に行われています。
移動教室；調布市では1年生を対象にスキー教室を行っています。

保健行事

4月から6月の間に、心臓病検診・腎臓病検診・眼科検診・歯科検診・耳鼻科検診など、多くの検診が行われます。

特別活動

生徒全員で組織する生徒会には、次のような専門委員会があり、1年から3年までの全学級から委員が選出され、学校生活の向上に努めています。学級の中では、各教科の係なども選ばれます。前期の終わり（9月）には、生徒会役員選挙が行われ、1年生も立候補できます。そして、生徒会本部役員として生徒会全体の運営に当たります。

進路指導部

I 本校の総合的な学習の時間の目標

- ・発見する力の育成；自分で課題を発見し、解決していく力の育成。
- ・考える力の育成；自ら学び、自ら考え、主体的に判断していく力の育成。
- ・表現する力の育成；他者の意見を尊重するとともに、自分の考えを豊かに表現する力の育成。
- ・他者とかかわる力の育成；お互いが尊重しあい、他者の良さを認める力の育成。
- ・体験的な学習や見学・調査などを重視して、主体的に学習活動が進められるように配慮する。
- ・地域の人材と諸機関を最大限に活用する。

II 具体的な取り組み

- ・地域・環境……各学年のテーマによる地域理解学習、発表活動、等
 - ・国際理解……私たちから見た東京、世界から見た東京等、日本の伝統文化・世界の伝統文化、等
 - ・進路・生き方…自分を知る、職場体験、職業調べ、マナー教室、上級学校訪問、等
 - ・福祉……福祉について考える、地域における奉仕活動、等
 - ・情報・表現……情報収集・活用・発信、パソコン操作・インターネット活用、図書・新聞の活用、等
- ※以上は例年実施している内容です。今年度は中止した活動もありますが「望ましい職業観の育成」や「進学指導」などの進路指導は、形式を変更して継続しています。

Ⅲ 各学年の取り組み内容

第1学年

- ・調布を中心として地域に生きる一員として、地域の課題や未来像を探る。
 - ・身近な社会人の方から自らの生き方について考える。
- 野川ウォークラリーにおける班別行動、「自分を知る」、職業調べ、等

第2学年

- ・東京に生きる一員として、東京の課題や未来像を探る。
 - ・職場体験を通して生き甲斐ある生き方を考える。
- 都内見学における班別行動、「社会を知る」、職場体験、等

第3学年

- ・日本という国についてその特性や特色を学び、世界の中でのありようについて考える。
 - ・自分の将来を見つめ社会での生き方について考える。
- 修学旅行における班別行動、 これまでに学んだ経験を生かした進路選択、等

卒業生の主な進学先

私立高校

科学技術学園	駒澤女子	東海大菅生	成蹊	桜美林
関東国際	駒場学園	早大高等学院	日大櫻ヶ丘	佼成学園
共立第二女子	富士見ヶ丘	中央大学杉並	日大鶴ヶ丘	宝仙（保育）
桐蔭学園	目黒学院	農大第一	富士見丘	駒澤大学
慶應義塾	白梅学園	国本女子	日大第二	国際基督教大学
日大明誠	杉並学院	玉川学園	藤村女子	立教新座
実践学園	聖徳学園	東京立正	東海大翔洋	東海大相模
国学院久我山	日本学園	八王子実践	堀越	早稲田実業
東海大高輪台	大成	桐朋	明星学園	成女
国土館	大東学園	二松學舎	武蔵野大学	佼成女子
下北沢成徳	拓殖大学第一	桐光学園	トキワ松	八王子学園八王子
立川女子	中央大学付属	日本女子体育大学二階堂	明大中野八王子	法政大学
明大明治	昭和第一学園	広尾学園小石川	新渡戸文化	桜丘
自由の森学園				

国公立・都立高校

多摩科学技術	新宿	調布北	武蔵野北	南平
田柄	新宿山吹	調布南	日比谷	三田
園芸	神代	六本木	東村山	東工大科学技術
荻窪	昭和	永山	芦花	鷺宮
国立	杉並総合	西	府中	六郷工科
国際	世田谷泉	農業	府中工業	石神井
国分寺	総合工科	若葉総合	府中西	豊多摩
小平西	第五商業	八王子桑志	府中東	片倉
狛江	立川	八王子東	松が谷	筑波大附駒場
工芸	田無	日野	松原	田無工業
東大和	小金井北	千歳丘	深沢	

その他

野田鎌田	N高	バンタンデザイン	ヒューマンキャンパス	NHK学園
就職	鹿島学園	大竹専修	クラーク記念国際	中央高等学院

(順不同)

生活指導部

I 当たり前のことを当たり前

「中学校の校則は厳しい。」そう思われがちですが、神代中学校の規則はどれも当たり前のことばかりです。時間を守る。服装を正す。授業に真剣に取り組む。こうした基本的な、つまり当たり前のことがしっかりできるように指導、支援をしていきます。

II 服装（標準服） ※詳細は入学準備が近づきましたら「新入生保護者説明会」で、ご説明いたします。

夏服 標準服の黒ズボン、標準服の紺スカート、紺のスラックス、
 白のYシャツ、白のブラウス
 もしくはワンポイントまでの白のポロシャツ（ズボン・スカート・スラックスの中に入れる）、
 スクールベスト（スカートと同じ生地もしくは指定の紺・白ニットから選択）

冬服 学生服（黒の詰襟）・下に白のYシャツ、標準服の黒ズボン
標準服の上着・下に白のブラウス、標準服の紺スカートもしくは紺のスラックス
校章と組章を取り付ける。
（防寒のために上着の下にセーターの着用は認めています。その場合、セーターのきまりはVネックのみ。色は黒、紺、白、グレーで無地のものに限る。）
登下校の際、コートやウィンドブレーカー（上・下）の着用は認めています。

体育着 ネーム入りジャージ（長袖・長ズボン）、体育着（半袖、ハーフパンツ）

その他 ●髪を束ねるピンやゴムは黒、茶、紺などの華美でない物を使用する。また、必要以上の飾り物のある物、先が尖っているなど危険性のあるものはつけない。
●靴下は白・黒・紺・グレーを原則とし、ワンポイントのみ可とします。

Ⅲ 自転車通学

本校では、学区内の一部の地域から登校する生徒に限り、自転車通学を許可しています（学区外通学者は不可）。自転車を利用する場合には、ヘルメットの着用と、保険への加入を義務づけています。ご協力をお願いいたします。安全指導は学校でも行いますが、保護者の皆様も是非ご指導ください。

Ⅳ 部活動

今年度、開設している部活動は、以下の通りです。

陸上競技 ・ 野球 ・ サッカー ・ ソフトボール ・ 卓球 ・ バレーボール（男子）
剣道 ・ 男子バスケット ・ 女子バスケット ・ バドミントン ・ ラグビー
女子硬式テニス ・ 吹奏楽 ・ 合唱 ・ 美術 ・ 理科報道 ・ 4011組クラブ

特別支援学級（11組）

Ⅰ 11組概要

今年度、特別支援学級（11組）には、3学年あわせて23名の生徒が在籍しています。担任4名、介助員3名、非常勤教員、講師4名で日々の指導にあっています。授業内容や生徒の特性などにあわせて、一斉指導や学年別指導、グループ別指導などいろいろな形態をとり、学習効果があがるよう工夫しています。さまざまなグループを経験する中で、人間関係の構築も目指しています。通常学級と比べて、日常的に少人数での学習を継続できる学級です。

Ⅱ 交流、行事

通年で、通常学級との交流をしています。学年集会、毎朝の朝読書や朝学活は、交流学級で参加します。また体育祭や各学年の行事で交流をしています。行事としては11組単独でも校外学習や宿泊学習があります。そのほか、多摩地区の特別支援学級合同行事としてバスケットボール大会、マラソン大会、調布市の特別支援学級合同行事として学習発表会や4校交流会などがあります。実体験を通して生活経験を豊かにするという目的で、年間を通して多くの行事があります。

Ⅲ 中学校卒業後の進路

過去3年間の卒業生の主な進学先

都立特別支援学校（府中けやきの森学園、南大沢学園、永福学園）

星槎国際高等学校、未来高等学校、国土館高等学校昼間定時制、科学技術学園高校 など

※ ご質問等ございましたら個別に応じます。ご相談ください。